

令和2年度 図書館活動 目標・取組一覧

柱	番号	目 標	取 組 内 容
I 子どもたちの心を豊かに育む図書館	1	児童サービスの充実	「聖籠町子ども読書活動推進計画」の着実な実行に努める。
			成長(年齢)に合わせた選書を行う。
			ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する。
			「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する。
			移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する。
			団体貸出や「調べ学習」などの資料提供支援を行う。
			訪問事業により、図書館の幅広い利用や活用につなげる。
			ティーンズ向け資料の充実・活用と情報発信
			こども園・司書教諭・学校図書館司書との情報交換により、現状と課題を共有する。
II 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館	1	図書館利用の推進	調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する。
			県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る。
			わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う。
	2	図書館資料の収集提供	利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う。
			地域・行政資料の収集・保存・提供
	3	情報発信の充実	広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う。
テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う。			
「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う。			
III 図書館誰もが集える	1	利用環境の整備	安心して利用できるよう安全管理と防災体制を整える。
			安全性・快適性を確保するため施設の点検や巡回を行う。
	2	各種事業の開催と支援	所蔵資料を活用した講座や学習会を開催する。
			趣味や作品発表など利用者の情報発信の支援を行う。
IV 生き生きと活躍する職員と町民	1	職員の充実	利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める。
			職員の資質を高め、利用者サービスの向上につなげる。
	2	関係団体との協働	ボランティア団体の活動を支援・育成し、利用者サービスの向上に努める。
			図書館協議会の開催により意見提案を求める。
	3	町民意見の反映	「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる。
			普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する。

<評価段階>

自己評価（図書館職員）

指標別評価	評価基準	目標達成率
A	目標を達成できた	目標値の100%以上
B	目標をおおむね達成できた	目標値の80%以上100%未満
C	目標をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満
D	目標を達成できなかった	目標値の50%未満

外部評価（図書館協議会）

I～IVの事業項目の達成状況について各委員からA～Dのいずれかの評価を行っていただき、その評点平均点により、最終的に各項目のA～Dの総合評価を決定します。

各委員の評価

総合評価	評価基準	評点
A	目標を達成できた	3
B	目標をおおむね達成できた	2
C	目標をあまり達成できなかった	1
D	目標を達成できなかった	0

協議会の評価

総合評価	評価基準	各委員の評点の平均
A	目標を達成できた	2.8以上
B	目標をおおむね達成できた	2.0以上2.8未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0以上2.0未満
D	目標を達成できなかった	1.0未満

I 子どもたちの心を豊かに育む図書館

1 児童サービスの充実

- 【取組事項】
- ・「聖籠町子ども読書活動推進計画」の着実な実行に努める。
 - ・成長(年齢)に合わせた選書を行う。
 - ・ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する。
 - ・「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する。
 - ・移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する。
 - ・団体貸出や「調べ学習」などの資料提供支援を行う。
 - ・訪問(受入れ・出張)事業により、図書館の幅広い利用や活用につなげる。
 - ・ティーンズ向け資料の充実・活用と情報発信
 - ・こども園・司書教諭・学校図書館司書との情報交換により、現状と課題を共有する。

〈評価の指標〉

指標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
児童図書貸出冊数	65,789冊	63,500冊	54,287冊	B
0～18歳貸出利用者数	7,351人	7,100人	5,288人	C
児童図書蔵書冊数	50,057冊	50,900冊	50,982冊	A
おはなし会参加者数	503人	255人	241人	B
団体貸出利用冊数	21,566冊	19,000冊	19,536冊	A
訪問(受入れ・出張)事業参加者数	3,842人	2,150人	2,134人	B
移動図書館車貸出冊数	10,154冊	5,080冊	5,853冊	A
こども園・学校担当者会議の開催数	12回	8回	7回	B

〈図書館職員自己評価〉

- 【成果と課題】
- ・新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館や各種事業の人数制限の影響なのか、目標を達成できない項目が複数出てしまった。
 - ・移動図書館車を利用できる児童の人数制限もあり、0～18歳貸出利用者数は目標値を大きく下回った。
 - ・団体貸出は目標値以上の実績となった。図書館に来館できない子ども達へのサービスとして有効に機能したのではないか。
 - ・今後も安全な利用環境を確保したうえで図書の活用を考えることとしたい。

〈図書館協議会の評価〉

<p>【評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であり、目標値に達しない項目があった。 ・「児童図書貸出冊数」は特に重要なものである。「図書館離れ」が長期的に進行しているという懸念はないのか分析が必要である。 ・小学生と比べ中高生の有効登録者数が極端に少ない。本指標の実績を増やすためには、コロナ禍での移動図書館車の運営の改善を図るだけでなく、中高生の有効登録者数を増やす取組が必要である。 	<p>総合評価</p> <p>B</p>
--	----------------------

項目別評価票

Ⅱ 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館

1 図書館利用の推進

- 【取組事項】
- ・調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する。
 - ・県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る。
 - ・わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う。

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
入館者数	81,547人	78,700人	59,211人	C
レファレンス件数（課題解決）	81件		64件	
〃（所蔵照会）	2,960件		2,961件	
相互貸借数（貸出・借受）	186件		197件	

2 図書館資料の収集提供

- 【取組事項】
- ・利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う。
 - ・郷土・行政資料のほか、町内立地企業に関する資料も収集提供する。

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
総貸出点数	140,823点	136,000点	122,021点	B
有効登録者数	3,267人	3,150人	2,842人	B
予約・リクエスト件数	1,571件	1,520件	2,257件	A

3 情報発信の充実

- 【取組事項】
- ・広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う。
 - ・テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う。
 - ・「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う。

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
定期的なホームページの更新（回数）	45回	45回	56回	A
テーマ展示・コーナー展示実施回数	122回	85回	101回	A

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

- ・新型コロナウイルス対策による臨時休館があり、再開してからも短時間の利用をお願いしているためか、利用者数がコロナ前の水準には戻らなかった。
- ・臨時休館中に実施した予約貸出サービスの影響もあり、予約件数は大きく増加した。予約は貸出に直結するため、予約冊数が維持できるようしたい。
- ・コロナ禍にあっても図書館の情報を迅速に伝えるためホームページをこまめに更新した。また、滞在時間を短縮するためテーマ展示は時宜を得た内容を心掛けた。
- ・時間がかかると思われるが、コロナ禍で減少した利用を回復するため蔵書を整え、新鮮で魅力的な情報を発信していく。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

- ・入館者数の減少はコロナ禍における利用者の外出自粛の意識と、「密」を避けるための目的を絞った来館行動である。
- ・ホームページによる情報提供やテーマ展示等の工夫、臨時休館中の「予約貸出サービス」は、職員の短時間で「好きな本を選んでもらいたい」という強い気持ちであり評価したい。
- ・今回A評価の「予約・リクエスト件数」も感染拡大状況を反映したものであるならば、終息後減少することが危惧される。増やす取組が必要である。

総合評価

B

Ⅲ 誰もが集える図書館

1 利用環境の整備

- 【取組事項】 ・安心して利用できるよう安全管理と防災体制を整える。
 ・安全性・快適性を確保するため施設の点検や巡回を行う。

〈評価の指標〉

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
消防・防災訓練（回数）	3回	3回	3回	A
館内・館外巡視（1日あたりの巡視回数）	4回	4回	4回	A

2 各種事業の開催と支援

- 【取組事項】 ・所蔵資料を活用した講座や講演会を開催する。
 ・町民等が主体となって行う事業に関して共催・後援する。

〈評価の指標〉

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
一般向け事業（回数）	27回	21回	18回	B
子ども向け事業（回数）	7回	7回	7回	A

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】 ・換気や消毒、施設のスペースに応じた事業規模の縮小、利用者への啓発など各種感染対策を日々着実に実施した。
 ・各種事業については、密にならないように工夫しながら開催した。試行錯誤しながらだったが、参加していただいた方からはおおむね好評だったと思う。
 ・感染対策や人数制限等の制約があったが、利用者の方には現状の開催をご理解いただけていると思う。今後も安心して参加できる取組を続けていく。

〈図書館協議会の評価〉

<p>【評価内容】 ・多くの人が集う場である図書館において、安心安全を確保する対応は例年になく作業（換気・除菌等）もありご苦労があったと拝察し評価する。 ・コロナ禍の状況にあっても安全性を保ち、できる限り事業を行い続けた努力には敬意を表したい。 ・ビブリオバトルの感想を読ませて頂き、本を好きになるキッカケがここにあるような気がする。たくさんの方に広めて頂きたい。</p>	<p>総合評価</p> <p style="font-size: 2em;">A</p>
--	--

項目別評価票

Ⅳ 資格を持った職員と町民が生き生きと活躍する図書館

1 職員の充実

- 【取組事項】
- ・利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める。
 - ・職員の資質を高め、利用者サービスの向上につなげる。

〈評価の指標〉

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
正規職員数	6人		6人	
会計年度任用職員	10人		9人	
職員研修実施回数（外部及び館内）	12回	6回	5回	B
司書会議及び選書会議の回数	50回	55回	60回	A

2 関係団体との協働

- 【取組事項】
- ・ボランティア団体の活動を支援・育成し、利用者サービスの向上に努める。
 - ・図書館協議会の開催により意見提案を求める。

〈評価の指標〉

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
ボランティア活動日数	145日		81日	
図書館協議会開催回数	3回		3回	

注：図書館協議会開催回数に正副委員長会議1回を含む。

3 町民の意見反映

- 【取組事項】
- ・「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる。
 - ・普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する。

〈評価の指標〉

指 標	令和元年度実績	令和2年度目標値	令和2年度実績	指標別評価
「みなさんの声」投稿数	12件		7件	

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

- ・館内外の職員研修は、中止やズームでの開催になったものが多かった。ズーム研修にもメリットはあるので今後は積極的に活用していきたい。
- ・第二次子ども読書活動推進計画作成のための打合せがあり、例年より司書会議の回数が多くなった。
- ・ボランティア室は人数制限などにより不自由になってしまったが、各ボランティアグループで工夫しながら活動を継続していただいた。
- ・コロナ禍にあっても図書館協議会で予定どおりにご審議いただき「第二次子ども読書活動推進計画」及び「令和元年度図書館活動に対する評価」いずれも令和2年12月末までに作成することができた。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

- ・コロナ禍の行動自粛がある中、ボランティア活動を継続して頂けたことに感謝したい。
- ・司書会議、選書会議については目標値を上回った。制限された中でも図書館が、新しい発見や工夫を行い、利用者の利便性向上を目指す前向きな姿勢が窺え有難い。
- ・研修についてもコロナ禍で思うようにいかない中、オンライン研修等への積極的な参加を評価する。

総合評価

A